

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月4日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 鳥羽洋行

コード番号 7472 URL <http://www.toba.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 三浦 直行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 松永 健一

TEL 03-3944-4031

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 22年3月期第2四半期 | 4,881 | △59.2 | △141 | — | △101 | — | △137 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 11,976 | — | 867 | — | 931 | — | 556 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | △26.89 | — |
| 21年3月期第2四半期 | 107.17 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 22年3月期第2四半期 | 15,564 | 12,961 | 83.3 | 2,541.41 |
| 21年3月期 | 16,845 | 13,327 | 79.1 | 2,613.18 |

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,961百万円 21年3月期 13,327百万円

2. 配当の状況

| | 1株当たり配当金 | | | | |
|----------------|----------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 21年3月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 22年3月期 (予想) | — | — | — | 30.00 | 30.00 |

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,500 | △46.1 | △250 | — | △200 | — | △250 | — | △49.02 |

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[注] 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 5,300,000株 21年3月期 5,300,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 200,000株 21年3月期 200,000株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 5,100,000株 21年3月期第2四半期 5,191,803株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3.業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間（以下「上期」という）におけるわが国経済は、昨年の米国金融危機に端を発した世界同時不況により、国内における雇用不安、それに伴う個人消費及び民間需要の低迷をまねきました。その後の政府による経済対策等により一部に改善の動きは見られますが、総じて厳しい状況で推移しております。

このような世界的な経済状況は、当社の関連するデジタル家電、半導体、自動車・車載部品等の業界における設備投資の動向に大きな影響を与えております。これらの業界における設備投資は、個人消費の低迷による在庫調整並びに生産調整により、停滞を余儀なくされております。当社の業績は、これらの業界の設備投資に大きく依存しており、非常に厳しい経営環境が続きました。

上期におきましては、政府により総合経済対策のエコカー減税、新車購入補助金及びエコポイント制度等の政策が実行され、それらの政策に関連する業界におきましては、日本経済全体への効果は表れていますが、旺盛な新規の設備投資需要に結びつくまでに至っておりません。また、上期の後半において、一部の取引先には底打ち感が出ていますが、全体としては、依然として確実な回復基調に入ったとは言いがたい状況が続いております。

こうした経営環境下、当社は期初から新エネルギー関連企業の開拓並びに既存取引先の深耕等、新しい需要の創造に積極的に取り組むとともに、利益面では、役員報酬の減額等の経費削減施策を講じることにより利益の確保に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は48億81百万円(前年同四半期比59.2%減)となり、営業損失は1億41百万円(前年同四半期は営業利益8億67百万円)、経常損失は1億1百万円(前年同四半期は経常利益9億31百万円)、四半期純損失は1億37百万円(前年同四半期は四半期純利益5億56百万円)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の分析

当第2四半期会計期間末（以下「当四半期末」という）の1株当たり純資産は、前事業年度末（以下「前期末」という）比71円77銭減の2,541円41銭、自己資本比率は前期末比4.2ポイント増の83.3%となりました。

① 資産

当四半期末の総資産は、前期末と比較して12億80百万円(7.6%)減の155億64百万円となりました。

流動資産は、前期末比13億4百万円(10.9%)減の106億45百万円となりましたが、現金及び預金の増加(8億45百万円)と受取手形及び売掛金の減少(20億47百万円)が主な要因となっております。

固定資産は、前期末比23百万円(0.5%)増の49億19百万円であり、特記すべき事項はありません。

② 負債

当四半期末の負債合計は、前期末と比較して9億14百万円(26.0%)減の26億3百万円となりました。

流動負債は、前期末比8億75百万円(26.6%)減の24億13百万円となりましたが、支払手形及び買掛金の減少(8億6百万円)が主な要因となっております。

固定負債は、前期末比38百万円(16.9%)減の1億89百万円となりましたが、定時償還による社債の減少(40百万円)が主な要因となっております。

③ 純資産

当四半期末の純資産合計は、四半期純損失の計上(1億37百万円)及び前期決算の剰余金の配当(2億55百万円)による減少などにより、前期末と比べ3億66百万円(2.7%)減の129億61百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、68億11百万円と前期末に比べ11億45百万円(20.2%)の増加となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、11億44百万円となりました。資金の主な増加要因は、売上債権の減少(20億47百万円)などであり、資金の主な減少要因は、税引前四半期純損失の計上(1億1百万円)や仕入債務の減少(8億6百万円)などがあります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により得られた資金は、2億95百万円となりました。資金の主な増加要因は、定期預金の払戻による収入(3億円)などがあります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は、2億95百万円となりました。資金の減少要因は、配当金の支払(2億55百万円)と社債の償還による支出(40百万円)であります。

3. 業績予想に関する定性的情報

昨年の米国金融危機に端を発した世界同時不況の影響は、日本の企業業績に大きな影響を及ぼしています。世界同時不況に対する各国政府の経済対策等が功を奏し、最悪期は脱しているものと考えられます。しかしながら外国為替市場において円高傾向が継続するとともに、原油価格も上昇傾向にあるなど、日本の企業業績にとって依然として予断を許さない状況が続くものと想定いたします。

このような経済予測のもとで、平成21年7月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において発表しました通期業績予想の修正は行っておりません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産のうち定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

| | 当第 2 四半期会計期間末 (平成21年 9 月30日) | 前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年 3 月31日) |
|--------------|---------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,811,528 | 5,965,612 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,715,296 | 5,762,310 |
| 商品 | 35,018 | 50,160 |
| その他 | 83,255 | 171,470 |
| 貸倒引当金 | △99 | △136 |
| 流動資産合計 | 10,645,000 | 11,949,417 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 2,117,243 | 2,137,325 |
| 無形固定資産 | 16,701 | 17,516 |
| 投資その他の資産 | 2,785,895 | 2,741,072 |
| 固定資産合計 | 4,919,840 | 4,895,913 |
| 資産合計 | 15,564,840 | 16,845,331 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,130,415 | 2,936,433 |
| 1年内償還予定の社債 | 80,000 | 80,000 |
| 未払法人税等 | 14,199 | 14,298 |
| 引当金 | 90,000 | 150,000 |
| その他 | 99,309 | 109,134 |
| 流動負債合計 | 2,413,924 | 3,289,865 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | — | 40,000 |
| 引当金 | 24,125 | 24,125 |
| その他 | 165,596 | 164,139 |
| 固定負債合計 | 189,721 | 228,264 |
| 負債合計 | 2,603,645 | 3,518,129 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,148,000 | 1,148,000 |
| 資本剰余金 | 1,261,059 | 1,261,059 |
| 利益剰余金 | 10,964,163 | 11,356,279 |
| 自己株式 | △460,000 | △460,000 |
| 株主資本合計 | 12,913,222 | 13,305,339 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 47,972 | 21,861 |
| 評価・換算差額等合計 | 47,972 | 21,861 |
| 純資産合計 | 12,961,194 | 13,327,201 |
| 負債純資産合計 | 15,564,840 | 16,845,331 |

(2) 【四半期損益計算書】
【第 2 四半期累計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日) | 当第 2 四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日) |
|-------------------------|---|---|
| 売上高 | 11,976,443 | 4,881,703 |
| 売上原価 | 10,050,681 | 4,146,078 |
| 売上総利益 | 1,925,762 | 735,624 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 配送費 | 38,430 | 25,559 |
| 役員報酬 | 46,308 | 41,271 |
| 給料及び手当 | 441,648 | 427,434 |
| 賞与引当金繰入額 | 135,000 | 90,000 |
| 法定福利費 | 83,985 | 69,879 |
| 福利厚生費 | 32,000 | 25,738 |
| 減価償却費 | 24,173 | 21,158 |
| 地代家賃 | 29,342 | 31,465 |
| その他 | 227,812 | 144,533 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,058,702 | 877,040 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 867,060 | △141,416 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10,171 | 7,914 |
| 受取配当金 | 3,728 | 4,058 |
| 仕入割引 | 44,666 | 16,347 |
| 営業助成金 | — | 10,000 |
| その他 | 9,109 | 3,465 |
| 営業外収益合計 | 67,675 | 41,786 |
| 営業外費用 | | |
| 社債利息 | 608 | 349 |
| 売上割引 | 2,296 | 1,450 |
| その他 | 766 | 201 |
| 営業外費用合計 | 3,670 | 2,001 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 931,064 | △101,630 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 24,678 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 268 |
| 特別利益合計 | 24,678 | 268 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券売却損 | 423 | — |
| 投資有価証券評価損 | 261 | — |
| 特別損失合計 | 684 | — |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△) | 955,057 | △101,362 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 369,700 | 12,300 |
| 法人税等調整額 | 28,967 | 23,454 |
| 法人税等合計 | 398,667 | 35,754 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 556,390 | △137,116 |

【第 2 四半期会計期間】

(単位：千円)

| | 前第 2 四半期会計期間 (自 平成20年 7 月 1 日 至 平成20年 9 月30日) | 当第 2 四半期会計期間 (自 平成21年 7 月 1 日 至 平成21年 9 月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 売上高 | 5,514,474 | 2,555,412 |
| 売上原価 | 4,616,942 | 2,167,333 |
| 売上総利益 | 897,532 | 388,078 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 配送費 | 19,677 | 13,645 |
| 役員報酬 | 23,154 | 19,317 |
| 給料及び手当 | 220,852 | 213,753 |
| 賞与引当金繰入額 | 60,000 | 45,000 |
| 法定福利費 | 41,558 | 39,374 |
| 福利厚生費 | 14,905 | 12,345 |
| 減価償却費 | 12,309 | 10,598 |
| 地代家賃 | 15,592 | 15,674 |
| その他 | 112,905 | 65,825 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 520,954 | 435,534 |
| 営業利益又は営業損失 (△) | 376,578 | △47,455 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,812 | 4,405 |
| 受取配当金 | 873 | 648 |
| 仕入割引 | 19,259 | 8,433 |
| その他 | 1,318 | 2,359 |
| 営業外収益合計 | 26,263 | 15,846 |
| 営業外費用 | | |
| 社債利息 | 284 | 155 |
| 売上割引 | 1,146 | 855 |
| その他 | 172 | 111 |
| 営業外費用合計 | 1,603 | 1,121 |
| 経常利益又は経常損失 (△) | 401,238 | △32,730 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 55 | — |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 232 |
| 特別利益合計 | 55 | 232 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 261 | — |
| 特別損失合計 | 261 | — |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△) | 401,032 | △32,498 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 208,400 | 6,200 |
| 法人税等調整額 | △41,002 | △22,081 |
| 法人税等合計 | 167,397 | △15,881 |
| 四半期純利益又は四半期純損失 (△) | 233,634 | △16,617 |

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日) | 当第2四半期累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月 30 日) |
|-----------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△) | 955,057 | △101,362 |
| 減価償却費 | 24,173 | 21,158 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 446 | △553 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △15,000 | △30,000 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △42,000 | △30,000 |
| 受取利息及び受取配当金 | △14,397 | △12,470 |
| 社債利息及び支払保証料 | 889 | 510 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | △24,254 | — |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 261 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,708,122 | 2,047,014 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △4,107 | 15,141 |
| その他の流動資産の増減額 (△は増加) | 59,263 | 73,701 |
| 破産更生債権等の増減額 (△は増加) | △67 | 642 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △218,032 | △806,017 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | 24,206 | △5,052 |
| 未払費用の増減額 (△は減少) | △5,293 | △7,349 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △57,075 | 4,561 |
| 預り金の増減額 (△は減少) | △8,367 | △2,258 |
| その他の流動負債の増減額 (△は減少) | 7,901 | 371 |
| その他 | △86,709 | △22,508 |
| 小計 | 2,305,018 | 1,145,529 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,331 | 12,403 |
| 社債利息及び支払保証料の支払額 | △949 | △569 |
| 法人税等の支払額 | △448,078 | △12,436 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,872,322 | 1,144,926 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 300,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △2,100 | △272 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △300 | — |
| 投資有価証券の取得による支出 | △64,963 | △3,737 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 31,550 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △35,813 | 295,989 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 社債の償還による支出 | △40,000 | △40,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △460,209 | — |
| 配当金の支払額 | △424,000 | △255,000 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △924,209 | △295,000 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — | — |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 912,299 | 1,145,916 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,002,061 | 5,665,612 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 5,914,360 | 6,811,528 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 2 四半期累計期間（自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日）

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 2 四半期累計期間（自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年 9 月30日）

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 販売実績

当第 2 四半期累計期間における販売実績は次のとおりであります。

| 品 目 | 販売高(千円) | 前年同四半期比(%) |
|--------|-----------|------------|
| 制御機器 | 2,022,038 | △56.8 |
| F A 機器 | 2,096,588 | △63.6 |
| 産業機器 | 763,076 | △50.1 |
| 合 計 | 4,881,703 | △59.2 |